

令和元年
伊豆市議会 1 2 月定例会

一 般 質 問

令和元年 1 2 月

令和元年伊豆市議会12月定例会一般質問者と質問事項

12月3日(火) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	1 波多野 靖明	1 防災情報の伝達方法について	市 長	1
		2 外国人就労者の日本語講座について	市 長	
2	14 杉山 誠	1 減災に大きな役割を果たす「地区防災計画」策定に向けた取り組み	市 長	3
		2 地域を守る地元建設土木事業所の担い手を育てる取り組み	市 長	4
		3 市営食肉加工センター「イズシカ問屋」の個体受入れ状況とその改善策について	市 長	
3	5 鈴木 正人	1 平成30年度決算から「3期12年」の菊地市政をみる	市 長 教育長	5
4	13 西島 信也	1 市長の住所地はどこか	市 長	7
		2 人口減少対策	市 長	
5	11 小長谷 順二	1 台風19号被害検証と今後の防災・減災対策	市 長	8
		2 がん検診の現状と対策	市 長 教育長	9

12月4日(水) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
6	7 杉山 武司	1 伊豆市の災害避難施設の現状について	市 長	10
		2 空き家バンクの現状と今後の取り組みについて	市 長	11
		3 林業再生の新局面を迎えて	市 長	12
7	9 青木 靖	1 自然災害の発災時の対応	市 長	13
		2 学校施設の現状	教育長	14
8	16 木村 建一	1 農村環境改善センター及び温泉プール敷地の公募に係る一連の課題について	市 長	15
		2 子育て支援の一つとして、国保税の均等割りの軽減の具体的な取り組みを求めます	市 長	16
9	12 小長谷 朗夫	1 合併以来、維持してきた112の行政区の在り方	市 長	17
		2 令和10年までの大型事業について	市 長	18
10	4 間野 みどり	1 こども食堂について	市 長	19
		2 巧妙な振込み詐欺等の対策は	市 長	20
		3 ヤングケアラーについて	市 長 教育長	

12月5日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
11	6 下山 祥二	1 公共施設の適正管理と再配置の取組みについて	市 長	21
12	2 山口 繁	1 総合計画と各部門における政策を実行するための計画、戦略などとの連携、整合性について	市 長	23
		2 改めて3期12年の市政総括を	市 長	25
13	15 森 良雄	1 防犯カメラ	市 長	27
		2 働き方改革	市 長	28
		3 関野川	市 長	29
		4 官製談合	市 長	
		5 学力テスト	教育長	30
		6 パソコン教育	教育長	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 11月 20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1番 議員名 波多野 靖明

発言の種別 (○で囲む) 一般質問 ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 防災情報の伝達方法について	<p>全国に被害をもたらした大型で非常に強い台風 19 号は、10月11日に気象庁が「狩野川台風級」と警告があったため、この台風では避難所 1844 名、公民館 35 名で、計 1879 名、市民全体の約 6.2%が避難する結果となりました。</p> <p>また、全国各地では甚大な被害をもたらす結果となりましたが、伊豆市を含め狩野川流域では河川の決壊はなく、他地域で起きているような被害にならなかったことに大変安堵したとともに、被災した方々には心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>今回の台風避難を大きく意識付けたのは「狩野川台風級」というキーワードが伝えられた事が一つの要因であったと思います。情報発信の仕方一つで市民の意識が大きく変化することを実感しました。</p> <p>そこで、現在の市民に向けた災害情報の伝達方法の種類と今後の災害伝達方法の見通しについてお聞き致します。</p>	市長
2. 外国人就労者の日本語講座について	<p>近年、我が国では人口減少や少子高齢化に伴い、国内の産業全体で労働力人口の深刻な人手不足に直面しています。</p> <p>伊豆市においても、観光業、建設業やその他の産業においても就労人口は減少の一途をたどっています。</p> <p>現に私が幾つかの事業者と話したところ作業員、スタッフを募集しても集まらず、外国人就労者を受入れている。</p>	市長

	<p>真面目に働いてくれ、頼りにしていると聞いています。</p> <p>ただ、言葉の壁を超えるのが難しいと聞きます。</p> <p>そこで、伊豆市で外国人就労者に対し、日本語講座を開く事は、日本語を覚え、日本の文化を良く理解することに繋がる。故に外国人就労者と事業者が円滑なコミュニケーションを取ることが出来れば、業務も円滑、効率的になり市内事業者の有益になると考えますが、いかがでしょうか。</p>	
--	--	--

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 11月 20日

伊豆市議会議長 様

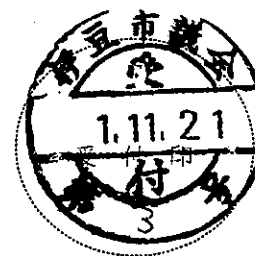
議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) 一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	求 め る 者
<p>1.減災に大きな役割を果たす「地区防災計画」策定に向けた取り組み</p>	<p>災害発生時には自治体や消防などの公的機関が行う「公助」が行われますが、より減災に大きな役割を担うのは自らの命を守る「自助」と地域住民が助け合う「共助」とされています。</p> <p>6,400人以上の死者・行方不明者を出した平成7年1月の阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出され生き延びることができた人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されており、消防、警察及び自衛隊によって救出された人は約2割との調査結果があります。</p> <p>また同じ阪神・淡路大震災における別の調査では、自力で脱出したり、家族、友人、隣人等によって救出された割合が約9割を超えており、救助隊によって救助されたのは1.7%であるとの調査結果もあります。</p> <p>大規模広域災害時に、救助隊が直ちにすべての現場に駆けつけることは不可能です。</p> <p>さらに、1万8,500人以上の死者行方不明者を出した平成23年3月の東日本大震災でも、岩手県大槌町のように町長をはじめ町の多くの幹部や職員が津波によって死亡するなど行政機能がまひし、被災者を支援することができなかったことがあり、これらのことを教訓に、地域住民が災害時の避難方法などを自ら立案する「地区防災計画」が、平成25年の災害対策基本法の改正で創設されました。</p> <p>地区防災計画は自治会や商店街、事業所など、立てる単位も自由で、その内容も地区の状況に合わせて住民主体で考えるものですが、各地域で地区防災計画の策定が進むことが、市全体の災害対応力の向上につながると思います。</p> <p>① 現在当市では地区防災計画の策定についてどのような取り組みが行われているのか、今後の普及について如何に考えているのか伺います。</p> <p>② また地区防災計画に大きな役割を果たす人材育成・防災士の資格取得者増加策とその知識・技能の活用について</p> <p>③ 家庭における防災計画やマイタイムラインの普及について考えを伺います。</p>	<p>市長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
2. 地域を守る地元建設土木事業所の担い手を育てる取り組み	<p>国土交通省によると、広い範囲で大きな被害をもたらした台風19号は、16都県の延べ301河川で氾濫が発生し、浸水した面積は少なくとも2万5,000ヘクタールと去年の「西日本豪雨」を超える記録的な豪雨災害となり、土砂災害では11月6日時点で20の都県で合わせて821件確認され、1つの台風で発生した土砂災害としては、記録が残る昭和57年以降、最も多くなったとのこと。</p> <p>当市でも護岸崩壊や道路損壊、農地・農業施設被害などが数多く発生し、復旧には多額の費用と長い期間を要するとされています。</p> <p>近年は地球温暖化の影響で大型台風の発生頻度が増し、このような災害は今後も発生することが危惧されています。また、南海トラフ巨大地震の発生も近い将来、あるいは直近で発生するかもしれません。</p> <p>これらの自然災害に対して、住民の安全を確保し被害を最小限に食い止め、被災後の早期復旧・復興を図るためには、地域の建設土木事業者の協力が不可欠です。</p> <p>しかし、少子高齢化、人口減少の中で受注量も減少し、担い手の確保はどこも深刻な課題であり、技術の継承はおろか事業所の存続もままならない状況であると聞きます。</p> <p>国土交通省では、「年間を通じた切れ目のない公共工事の発注は、地域の担い手となる建設事業者の経営の効率化及び安定化、公共工事の品質確保を図る上で重要であり、(中略)発注・施工時期の平準化に向けた取り組みを更に多くの地方公共団体に広げることが重要である」としています。</p> <p>当市における担い手を育てる取り組みはどのように行われているか、また今後公共工事の発注・施工時期の平準化にいかに取り組んでいくかについて伺います。</p>	市長
3. 市営食肉加工センター「イズシカ問屋」の個体受入れ状況とその改善策について	<p>「イズシカ問屋」については、捕獲個体の買取りにより狩猟者の捕獲意欲を増進し、もって深刻な野生鳥獣による農業被害の軽減を図るとともに、品質の優れた食肉の販売による伊豆市ブランドの向上に貢献してきたと確認しています。</p> <p>しかしながら季節変動はあるが、その受け入れ能力は充分でなく、せっかく搬入しても受け入れを断られ搬入意欲、さらに捕獲意欲も減少しているとの声が複数の市民(狩猟者)から寄せられています。</p> <p>現状の課題についてどう認識しているか、今後の改善策をいかに考えるか伺います。</p>	市長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元 年 11月 21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 鈴木 正人

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(<u>一般質問</u>) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
<p>平成30年度決算から「3期12年」の菊地市政をみる</p>	<p>本年、令和元年9月定例会において、山口繁議員が「<u>菊地市政3期12年の総括を</u>」と題して、市長の市政運営に対する一般質問が行なわれました。</p> <p>また、菊地市長「<u>3期目最後の決算審査</u>」となる平成30年度一般会計歳入歳出決算及びその他特別会計・公営企業会計決算については、審査の結果いずれも賛成多数にて承認されたところであります。</p> <p>一方で、「広報伊豆11月号」にて、4ページの紙面を割いて市民に向けて『平成30年度決算 まちづくり成果報告』と題して「平成30年度に取り組んだ主な事業」、「伊豆市の財政状況」、「伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況」についての概要が掲載され、『<u>市民の皆さんに納めて頂いた税金がどのように使われたのか</u>』市民に向けて「一定の周知」が行なわれたところでもあります。</p> <p>平成30年度諸会計の決算審査については、9月定例会にて多いに議論を重ねたところでありますが、<u>市長の「3期目最後の決算審査」の観点から</u>、以下改めて市長の自己評価並びに所見を以下伺います。</p> <p>1) まず、「平成30年度に取り組んだ主な事業」のうち以下の事業について、改めてそれぞれの事業内容とその成果について伺います。</p>	<p>市 長 教育長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>① まちづくり重点目標 2 「安全で心地よい生活環境の創出」から 「定住促進事業補助金」について</p> <p>② まちづくり重点目標 3 「産業力の強化」から 「伊豆市産業振興協議会委託事業」について</p> <p>③ まちづくり重点目標 4 「まちへの誇りの醸成とブランド力の向上」から 「文学の郷構想策定支援業務」について</p> <p>2) 続いて、それぞれの事業を「伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況との兼ね合いで改めて説明願います。</p> <p>3) 最後に、これらを踏まえて、市長自らがこの3期目を「ホップ・ステップ・ジャンプ」のうちの最後の『飛躍の期』と位置付けて市政に取り組まれてきたという前提で、改めてこの「平成30年度決算」をどのように総括し、評価されているのか伺います。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11 月 20 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 台風 19 号 被害検証と今 後の防災・減災 対策	<p>台風 19 号は、10 月 6 日 3 時に南鳥島近海で発生し北上、12 日 17 時過ぎには伊豆半島の西南西の海上で、中心の気圧は 945 hPa の大型で強い台風となりました。12 日 19 時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13 日未明に東北地方の東海上に抜けました。この台風により 98 名の方の死亡が確認され、3 名の方が現在行方不明、71 の河川で決壊が報告されています。(11 月 18 日 消防庁情報)</p> <p>政府は台風 19 号による被害を激甚災害と大規模災害復興法に基づく「非常災害」に指定することを決定したので自治体が管理する道路などの災害復旧計画の作成や、工事の発注を国や都道府県が代行できるようになりました。</p> <p>今回、狩野川台風を上回る総降水量 778 mm の大雨 (湯ヶ島雨量観測所) で、市内外で起こった台風被害を検証し今後の防災・減災対策に結びつけていく為に以下の質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 台風接近の注意喚起に伴う避難の推進と大雨特別警報発令後の避難状況そして避難所運営の課題 2) 高潮による防潮堤閉門における内水被害の可能性と対策 3) 河川の氾濫を防ぐ樹木伐採と河床掘削の現状 4) バックウォーター現象の状況と対策 5) 浸水被害の軽減のための土嚢の活用状況 6) 支援物資受け入れ体制の課題と対策 7) 近隣市町の災害ごみの処理状況と協力体制 8) 他市町の災害における職員派遣 	市 長

<p>2. がん検診の現状と対策</p>	<p>がん検診は、がんを早期発見し適切な治療を行い、がんによる死亡率を減らすことを目的として実施されていますが、平成10年に老人保健法の保険事業から除外されて市町村事業となり、平成20年には健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として位置付けられ、継続して市町村が実施することとされ現在に至っています。</p> <p>毎年、健康支援課から送付される健康診査のお知らせの封筒の中に、おとなの検診まるわかりガイドが同封されています。表紙の正しく知ろう！がん検診には、現在わが国のがんによる死者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めるようになりました。しかし診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、そして早期治療が可能となり、がん検診はこうした医療技術に基づき、がん死亡率を減少させることができる確実な方法なので、正しい知識を持って継続的にがん検診を受診するように呼び掛けています。</p> <p>検診は自覚症状が無い時点で行われることから、がんが進行していない状態で発見することが出来ます。がんが不治の病と言われたのは昔の事で、現在では早期発見、早期治療でがんはその多くが完治すると言われているので、がん検診事業の現状と対策について以下の質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 当市の各種がん検診受診率の推移と現状 2) 当市のがん検診受診後のがん罹患者の発見率 3) 受診率の向上の取り組み 4) スマートフォンアプリ「がん検診のススメ」の導入 5) 人間ドック助成制度の現状 6) 中学生の胃がんリスク検診の導入 7) 小・中学校でのがん教育の現状と今後の取り組み 	<p>市長 教育長</p>
----------------------	--	-------------------

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11月 21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉 山 武 司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		発言の要旨	答弁を 求める者
件名	内容		
1 伊豆市の災害 避難施設の現 状について	<p>夢と希望に満ちた令和の時代に入り、多くの人々が安心・安全な生活を願っていたものと思います。</p> <p>しかし、その願いを無残にも打ち砕く惨事が起きました。15号・19号、更には21号の3つの台風が東日本に大きな被害を及ぼしました。多くの尊い命が失われましたことに謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>伊豆市においては市道を始めとし県道や国道にも崩落が発生し、田畑の畦畔等にも多くの被害が生じましたが、昭和34年から60年にわたり整備が続く狩野川水系の砂防ダムが功を奏し人災に至らなかったことは幸いでした。</p> <p>その中であって、特に台風19号では全市民の約6%に当たる1800人を超える人々が市内の避難所に避難をしました。10月11日の気象庁の発表による「昭和33年の狩野川台風匹敵する記録的な大雨になる恐れがある」という報道が狩野川台風の被害を熟知している伊豆市の人々の心を動かし避難をしたものと思われます。</p> <p>しかしながら、その避難所は必ずしも満足と言えるものではありません。雨漏れの施設もあり避難所によっては想定を超えた多くの人々が避難をしたので</p>	市長	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2 空き家バンクの現状と今後の取り組みについて</p>	<p>はないでしょうか、更に設備面においても課題が顕在化したものもあつたと思います。</p> <p>それを踏まえ、次のことをお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな災害発生が予想される場合の避難者の収容数の全体計画はできていますか。 2. 今回の台風避難による各指定避難所の収容能力と避難者数は想定範囲でしたか。 3. 指定避難所の雨漏れの改修は勿論ですが、今後トイレや空調などの整備による快適な避難環境に向けた対応をお尋ねします。 4. 教訓として残った顕在化した課題は、どのようなものがありましたか。 <p>伊豆市では平成21年6月に人口減少危機宣言を発し様々な移住定住施策を講じてきました。市内では少子高齢化による人口減少に伴い空き家の件数は増え続けています。今年の9月時点での空き家バンクは中伊豆のパールタウン内の2件の売り物件のみで、賃貸の物件は皆無と記憶しています。また、平成27年以来4年ぶりに、本年空き家の実態調査を実施したことと思います。</p> <p>そのことを踏まえ空き家バンクについて次のことをお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少危機宣言を発してからの空き家バンク施策の実態を伺います。 2. 今回の空き家の実態調査結果に基づいた現在の状況と今後の施策を伺います。 	<p>市 長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
3 林業再生の新局面を迎えて	<p>外国産の木材に押され、長い間低迷を続けてきた日本の林業・木材産業が新たな局面を迎えています。</p> <p>戦後造林した人工林の杉やヒノキが伐期を迎えています。山間部の人口減少や高齢化の進展により放置林が増加している現状を踏まえ、国は2019年4月より林業の成長産業化と森林管理の適正化を図るため、新たな取り組みをスタートし「森林経営管理制度」を創設、「森林環境税・森林環境譲与税」の創設、「森林台帳」の整備の推進、更に2020年4月からは、国有林「樹木採取権制度」を創設します。これは「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用サイクルの実現を目標に掲げています。</p> <p>しかし、この新制度を活用し地方創生の主体的役割を担い運営するのは地元の市町村の役割とされています。</p> <p>そこでお尋ねします。</p> <p>1. 新制度の運営に関して、多くの自治体が専門知識を有する人材とノウハウが不足しているとされています。且つ、実施主体が未整備とされています。</p> <p>市の総面積の80%を占める豊富な森林資源の有効活用をし、林業の成長産業化を目的として産業力の底上げを目指す伊豆市の新制度に関しての方針を伺います。</p>	市長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年11月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 青 木 靖

発言の種別 (○で囲む)		発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1. 自然災害の 発災時の対応	<p>近年、様々な要因から自然災害の激甚化が指摘されることが多くなりました。地球温暖化に伴う海水温の上昇による雨量の増加、それに追いつかない社会インフラの整備や老朽化対応に課題があり、又、大規模地震の発生を想定した被害予測に対しても、十分な対応ができていない状況にあると思います。</p> <p>そこで、現時点で伊豆市においては、被害が想定される自然災害に対して、どの程度の備えが出来るのか、伺います。</p> <p>①当市での、国・県の防災減災施策の現状は</p> <p>②災害対策本部はいかに機能するのか 災害時、情報の収集・伝達はどのようになるのか</p> <p>③市内の避難所施設の課題は 避難所運営は</p> <p>④発災後の復旧支援の拠点はどのようにするのか 支援物資の集積や分配のシミュレーションは</p> <p>⑤災害ごみの処理についてはどうするのか</p>	市 長	

件名	内容	答弁を 求める者
2. 学校施設の 現状	<p>市内小中学校の諸問題については、数年来 検討が重ねられているところです。教育環境としての学校施設について、今回は、特に、2度の台風の後、各学校の施設の被害状況の確認や点検を行った結果、どのようなことがわかっているのか、現状の認識を伺います。</p> <p>①風雨が強かった台風後の、校舎・体育館・その他の施設の状況はどうだったか</p> <p>②校庭、学校周辺において、出水等による影響で、校内の活動・登下校等に際しての支障があったか</p>	教育長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11 月 21 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 木村建一

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 農村環境改善センター及び温泉プール敷地の公募に係る一連の課題について	<p>市は旧天城湯ヶ島支所の土地と建物は株式会社 DAIKICHI に売却するという覚書を交わしていますが、今年の 9 月議会で「農村改善センターと温泉プール建物を解体する費用」が提案され可決されました。土地については公募して売却、もしくは賃貸借契約を検討するという説明がありました。</p> <p>①覚書は、それぞれの建物の賃貸借契約だけではなく、土地についても覚書にあります。「覚書」から「更地にして公募する」とした経緯を説明してください。</p> <p>②市長は 9 月議会での私の一般質問に「(東京ラスクに) 商業施設として発展することを期待し」「引き続き経営者とはしっかり前に向けて話を進めていきたい」と答弁しました。公募するとなると、この発言はどうなるのですか。</p> <p>③市民に対して「天城湯ヶ島支所庁舎及び保健センターを商業施設(東京ラスク)にすることにより、様々な利点が生まれると考えています」と 3 つのメリットを宣伝していました。公募によってこのメリットをどう見ているのか教えてください。</p> <p>④総じて公共施設の統廃合は、現有施設に課題が投げかけられてきます。今回のこの件をきっかけに、行政の必要最小限の意思決定過程が市民と共有できる文書を残すようにしませんか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2.子育て支援の一つとして、国保税の均等割りの軽減の具体的な取り組みを求めます</p>	<p>国民健康保険税の子どもへの均等割り軽減を求めるのは、3回連続の質問になります。賦課方式は制度によるものですが、賦課割合及び内容については自治権があります。自治権の範疇の判断を求めていますので、国保担当の見解は求めません。市長の判断を求めます。</p> <p>①市長は、「制度として国で足並みをそろえるべきであり、国保税は、自治体間競争は望ましくない。一般論として裕福なところが勝つ」と述べていますが、市民の福祉向上のためには、自治体間競争は必要ありません。</p> <p>均等割りの軽減がなぜ自治体間の競争になると位置づけるのでしょうか。</p> <p>②国民健康保険の世帯に赤ちゃんが生まれると国保税が約3万円上がります。2人生まれると約6万円上がります。子育て支援につながりますか、なりませんか。見解を求めます。</p> <p>③通学費の補助制度は「不公平の観点から実施している。」と答弁されました。これは伊豆市ならでの制度として高く評価しています。国保加入の子どもは、均等割りを払い、他の医療保険加入の子どもにはありません。</p> <p>子育て世代の所得がこの30年間下がっていると市長は述べています。子育て支援の一つの政策として、均等割り軽減策の具体化を求めます。</p>	<p>市長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11月 21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷朗夫

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		()
○一般質問		質疑・反対討論・賛成討論・その他
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 合併以来、維持してきた112の行政区の在り方	<p>議員の一般質問は、日常の議員活動の結晶であって個人が何を考え、何をどうしたいのか確認や提案・主張などをする大切な場である。したがって毎回緊張の連続です。</p> <p>さらに自分の質問に責任を持つためには、質問内容のその後を辿ることも大切なことだと思います。その意味で前回の9月議会では5点についてその後を質問しました。そこで今回も「その後」ということで質問します。</p> <p>平成29年9月議会において、市内に存在する112の行政区(地域自治組織)の在り方を地域づくり協議会の要綱見直し等又は4町時代に組織されていたもう少しコンパクト化された区割はどうですか。と質問しました。今回も前回同様(ただし今回は少しだけ視点を変えて)持続可能な行政区の在り方について幾つか質問したいと思います。まずは、</p> <p>① 行政区数112という数をどう捉えていますか。</p> <p>その上で、</p> <p>② 行政区の再編は可能か。(112の組織体に一石を投じる考えはないでしょうか) さらには、</p> <p>③ 平成25年から6年を経過する「伊豆市地域づくり協議会支援要綱」の弾力化(実施数を増やす)又は112行政区の環境、生活等諸条件を考慮した上で、もう少しコンパクト化に再編することは考えられないか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
2 令和10年までの大型事業について	<p>11月8日の全員協議会の中で「財政シミュレーション」の説明がありました。シミュレーションに計上された令和10年までの主な大型事業として27の事業が挙げられました。そこで来年4月に予定されている市長選挙と関係づけて幾つか質問をします。</p> <p>議員になって丸7年過ぎ8年目を迎えます。この間、幾度となく市長始め執行部から「新市建設計画」又は「新市建設に向かって」などの発言を耳にしてきました。</p> <p>そこで最初に伺います。</p> <p>① 新市建設の終了はいつですか。(何をもって終了を判断するのか)</p> <p>② 27の大型事業の中にはすでに進行中の事業もある。また挙げられた事業は全てを優先しなければならないが、実施していく順位性がありますか。</p> <p>挙げられた事業内容について一つだけ伺います。</p> <p>③ 「牧之郷駅周辺整備事業」の整備内容と実施することによって市としてどのような「まちづくり」を構想していますか。</p> <p>次に平成30年度に取り組んだ主な事業をまちづくり成果報告として広報に紹介されていました。成果として捉えられる事業もあるが、今後も継続して推進する事業も幾つかあります。また今回示された財政シミュレーションは新たに7事業が加わり、大型事業が27となっております。そこでお尋ねします。</p> <p>④ どなたが市長に付いても次の任期4年間で新市建設のための事業を終了させることはできないと考えますが、どこまで実現可能にできるのか伺います。</p>	市長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年11月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 問野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む) 一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. こども食堂 について	<p>平成 30 年 12 月 5 日に一般質問でこども食堂について質問しました。</p> <p>その時点で、市は勉強会等今後計画していると聞き、前向きな対処を感じました。</p> <p>そして、今年の 7 月 20 日 (土) に生きいきプラザにて社会福祉協議会主催の勉強会があり、三島のこども食堂の代表の方の身近な話を聞く機会があり、その折、伊豆市の春風会の北狩野ケアセンターが、こども食堂を立ち上げて 10 月 5 日プレオープン、10 月 12 日より第 2、第 4 土曜日の月 2 回ペースで、実施する報告がありました。</p> <p>私も、10 月 5 日のプレオープンに参加し、美味しいカレーを頂き、地域のこども達の居場所づくりに大きく貢献していく予感を感じました。</p> <p>そこで質問いたします。</p> <p>①そのこども食堂の様子を承知していますか。</p> <p>②利用者数等の状況のデータを把握していますか。</p> <p>③市としては、今後どのような関わりが必要と考えていますか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 巧妙な振込み詐欺等の対策は	<p>振込み詐欺、架空請求詐欺は、年々、日々巧妙な手段を考え出し、多くの人を騙す手口は、複雑化していると思います。</p> <p>統計は、平成 22 年から平成 29 年まで、7 年連続増加し、平成 30 年は 16,496 件（前年比－1,716 件、－9.4%）と減少はしています。被害額も、363.9 億円（前年比－30.8 億円、－7.8%減少）と、平成 26 年以降 4 年連続で減少していますが、昨今の現状では、一時、80 歳以上のお年寄りをターゲットにしていたましたが、近年 50 代～70 代と、比較的若い年齢が狙われているように思います。</p> <p>そこで、質問いたします。</p> <p>①市民の安全のため出来る対策をどう考えていますか。</p> <p>②市民が相談するとしたら、どのようにしたら良いでしょうか。</p>	市長
3. ヤングケアラーについて	<p>前回、8050 問題を一般質問し、市の方も民生委員に協力を仰ぎながら、人数や状況を把握する方向へ動き始めたこと聞き、少しずつ前へ進んでいる様子に喜んでいきます。</p> <p>しかし、ヤングケアラーという新しい問題も出てきた現状です。</p> <p>ヤングケアラーとは、家族の介護を行う 18 歳未満の子どもを指します。</p> <p>主には、精神的な疾患を持った親や、病気の親を持つ子が多いですが、介護を担う若い層も増えていて、その影響は学業や日常生活にも及んでいます。</p> <p>そこで、市はヤングケアラーについて把握しているでしょうか。</p> <p>一番わかりやすく把握するには、中学校や高等学校等だと思いますが、教育委員会はどのように思いますか。</p>	市長 教育長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6 議員名 下山 祥二

No 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 公共施設の適正管理と再配置の取組みについて	<p>伊豆市は今後の人口減少、少子高齢化の進行が避けられない中、安全で持続的な公共サービスを提供していくために、社会情勢の変化に対応しながら効率的・効果的な公共施設等の整備および管理運営に努めることを目的とし、平成28年度に「伊豆市公共施設等総合管理計画」が策定され、その後、平成30年度には、施設の老朽化、少子高齢化、将来の財政状況、大規模災害への対応など多くの課題を抱える中、将来にわたって公共サービスを持続させ、中長期的な視点に立った計画的な建物系公共施設の再編・再配置を推進するための基本方針「伊豆市公共施設再配置基本計画」が策定されました。私は平成29年3月議会と平成30年9月議会で公共施設の適正管理と今後の取組みについて一般質問しましたが、言い放しではなく、執行部の答弁をもとにその後の取組みについて追跡質問として、現状の取組みについて質問します。</p> <p>① 平成30年度に策定され伊豆市公共施設再配置基本方針による総体的な取組み状況はどのように進んでいるかお聞きします。</p> <p>② 来年4月開園予定だった修善寺東子ども園は鉄骨資材の不足が原因で開園が2ヶ月程度遅れる予定であると説明されました。建設当初から開園までの経過についてお聞きします。</p>	市 長

	<p>③ 本年9月にリニューアルオープンした「修善寺虹の郷」の管理・運営状況は適正にされていますか？</p> <p>④ 本年9月の台風15号、さらには10月の19号の教訓をもとに、防災、減災そして大災害時の災害復旧のために伊豆市の公共施設の再配置はどうあるべきと考えますか？</p>	市長
--	---	----

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 11月 20日

伊豆市議会議員 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

発言の種別 (○で囲む)		答 弁 を 求める者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
<p>1. 総合計画と各部門における政策を実行するための計画、戦略などとの連携、整合性について</p>	<p>市の最上位計画と位置付けられている総合計画は、現在第2次計画が進められています。期間は平成28年度(2016年)から平成37年度=令和7年度(2025年)までの10年間で、現在は前期計画5年間の4年目に入っています。</p> <p>また、各部門には、その重要な政策を実行するための中期、あるいは長期にわたる計画や戦略などがあります。その一部について列挙してみることにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 4町合併協議会で策定された伊豆市建設計画=平成16年度から10年間だったものが再三期限延長され、令和6年度までとなる予定。(合併特例債の期限延長にリンク) 2) 伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略=平成27年度から5年間 3) 伊豆市コンパクトタウン&ネットワーク計画=地域再生計画認定の日から平成32年度まで 4) 伊豆市公共施設等総合管理計画=平成29年度から40年間 5) 伊豆市環境基本計画=平成28年度から10年間 6) 第1次伊豆市いのち支える自殺対策行動計画=2019年度から5年間 7) 健康いず21(第3期)計画=平成29年度から6年間 8) 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画=平成29年度から9年間 9) 伊豆市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画=平成30年度から3年間 10) 伊豆市子ども・子育て支援事業計画=平成27年度から5年間 11) 第3次伊豆市行政改革大綱・伊豆市集中改革プラン=平成27年度より5年間 <p>等々です。</p>	<p>市長</p>

そこで、市の最上位計画である総合計画と各部門の計画等についての連携や整合性について質問いたします。

①一部挙げさせていただいた各部門の計画等においては、総合計画との関係を意識した記述のあるものやないもの、計画期間・年数を合致させようとするものやそうでないものがあります。

最上位計画との統一感が取れていないように思いますが、これをどのように考えますか。

②伊豆市の最重要の課題は、人口減少に歯止めをかけることであることは、再三市長が表明してきたとおりです。

第2次総合計画では最終期限である平成37年度（令和7年度）の人口を28,500人としています。そして、人口減少対策に取り組むための方向性を整理するものとして位置づけられている「まち・ひと・しごと創生戦略」ではそれに沿った人口ビジョンを示しています。それによると、平成30年のビジョン目標で31,060人ですが実際人口（国調ベース推計）は29,879人とすでに1,100人超のマイナスギャップがあります。

まち・ひと・しごと創生戦略は、令和2年度からは新たな5年間計画となります。そこで示す人口減少対策は、最上位計画である総合計画の令和7年度の設定人口28,500人を無視することはできないと思いますが、その点についての見解を伺いたい。

③4町が合併をし、伊豆市になって15年余が経過しました。この間、行政改革については五カ年計画で実施してきており、明年3月末には第3次計画の期末を迎えます。

1) おさらいの意味を込めて、まずは第1次および第2次の計画について、その主な狙い、その得られた成果等について説明願います。特に、合併からの経時変化により、1次、2次の計画の論点、視点が異なっていると思いますのでそのあたりを含めての解説をお願いしたい。

2) その継続で策定された第3次計画は、未だ中途ではありますが、来年3月の計画期末までの最終盤に入っております。この計画のポイントと現時点での成果評価について説明願いたい。

<p>2. 改めて3期12年の市政総括を</p>	<p>3) 行政改革は今後も引き続いていくものと思われます。</p> <p>これまでの計画の成果を土台として進展をさせようとするはずですが、次期計画の骨格となる部分をどのように設定しようとしているのか、現時点での見解を示していただきたい。</p> <p>特に、合併から15年余を経過していますので、財政に着目した定量的な改革から庁内組織の機能や職員力の向上といった質の改革をめざすべきと思いますし、第2次総合計画の後期計画より1年先行することになりますのでそのあたりの関係性を含めた見解を伺いたい。</p> <p>9月定例会でも採り上げましたが、人口減少問題を最大の課題としてきた菊地市政3期12年についての総括が私個人の理解力の問題なのか必ずしも満足のものではなかったため改めて問います。</p> <p>① 人口減少危機宣言を発するなど伊豆市の最大の課題は、「人口減少問題をどのように解決していくか」であると思います。危機宣言を発して以降、これまでの10年余における具体的施策を挙げていただき、その経過と結果、評価について説明願いたい。特に政策の3本柱として掲げていた「雇用の創出」「所得の向上」「定住の促進」がどのように進展したのかという点について。また、人口減少問題を担当する特別な部署をつくることなく、すべての部・課がこの問題に取り組むように指示をしたとのことでしたが、それぞれの部・課は日常業務に加えてどのような特徴的な取り組みをしてきたのか。</p> <p>② 人口減少対策に資すると云われた文教ガーデンシティ構想が中止となりました。市長の政策・公約の大黒柱というべきものが議会において、同構想を進めるための関連予算が否定（関連予算を除く修正予算が可決）され、市長権限である議会可決に対する拒否権の発動（再議権の行使）をされましたが否決されました。この瞬間が菊地市政のひとつの分岐点であったと思います。さらに、見逃すことのできないのは、その文教ガーデンシティ構想の失敗の本質について「今なお模索し続けているとこ</p>	<p>市長</p>
--------------------------	---	-----------

ろだ」とのことでした。これでは、一般的に多選批判が始まる
と言われている 4 期目の続投について多くの市民の理解を得る
ことは難しいのではないかと思います。

来春の市長選への対応については、9 月定例会の私の質問に対
し、「何も考えていない」とし、「市民の皆さんの声を聴いて決
めたい」とのことでした。

この 3 ヶ月間、市民の声についてどのような場でどのような意
見をお聴きになったのでしょうか。

- ③総括の範疇に入るものと思いますが、唯一市長からいただいた答
弁のなかに反省すべき点として「議員との共通の価値基準を持ち
ながら議論することができなかった」というのがありました。
その議論のテーマとして「伊豆市の将来像」をあげられましたが、
そのことについて市長が描いているのはどのようなものなのか、
そしてそのイメージした姿への到達度合いは現時点でどの程度
のものであるのかということを改めて伺いたい。

発言通告書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年11月21日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

発言の種別 (○で囲む) 一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()		答弁を 求める者
発言の要旨		
件名	内容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問させていただいています。	市長
	防犯カメラは9月議会からでも大きく変化しています。	
	防犯カメラは日々、進歩しています。9月の質問からでも	
	防犯カメラの一層の進化が、変化がうかがえます。	
	市長は防犯カメラの導入には消極的なようですが、防犯カメ	
	ラには犯罪の抑止力に大きな効果があります。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、その抑止力は	
	半端ではありません。市長はどう考えますか。お聞きしたい。	
	総務部長は防犯カメラを市が設置することはないと言ってます。	
	それは、今でも、市長の考えも同じですか、伺いたい。	
	防犯カメラなくしては犯罪捜査も成り立たなくなっています	
	11月に入っても防犯カメラの活躍が報じられています。	
	9日未明には大阪府で護送中の被告が逃走しましたが防犯カメ	
	により姿を確認、その後身柄が確保されています。	
	12日には青森県八戸市で女兒切り付け事件が発生しました。	
	この事件も防犯カメラで早期に犯人の逮捕ができました。	
	現場近くでは7日夕にも不審者による、付きまとい事案があり	
	ました。伊豆市には不審者は出ないのでしょうか。	
	市長も、総務部長もかたくなに防犯カメラの導入を否定してい	
	ます。その理由は伊豆市の地域力と言ってます。	
	伊豆市の地域力とはどんなものですか。防犯カメラ以上の効果	
	がある、伊豆市の地域力について説明してください。	

件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	令和に入り、世は働き方改革の世になっています。	市長
	改革なくして、伊豆市の発展はありません。	
	伊豆市の人口減少は止どまることを知りません。	
	当然、市の職員の定数も削減されるでしょう。	
	しかし、仕事量が増えることはあっても減ることはありません。	
	市の業務は増えることはあっても、少なくなることはありません。	
	福祉社会がそうすることを求めています。福祉や教育はより	
	高度な仕事を求めてきます。量的な拡大を求めてきます。	
	市長はどう考えていますか、仕事量が減ると思いますか。	
	市長の考えを聞かせてください。	
	コンピューターの世界はサーバーからクラウドへと進化して	
	います。我々の見えないところでクラウド化が進んでいます。	
	伊豆市ではクラウド化はどのくらい進んでいますか。	
	市の業務の何割ぐらいがクラウド化しましたか。伺います。	
	まだ、クラウド化の進んでいないものもありますか。どんな	
	業務ですか。伺いたい。	
	クラウド化の予定はありますか。	
	クラウド化で経費の削減はできていますか。	
	経費の削減が出来ているようでしたら伺いたい。	
	業務の改善ができているようでしたら、伺いたい。	
	9月議会では三島市、伊豆市、伊豆の国市電算センターの68	
	業務のうち15業務が3市の電算センター業務に加わっていな	
	いことを質問しました。	
	今回はそのうちの一業務について質問します。	
	戸籍業務は3市の電算センターの戸籍業務に参加しています	
	か。参加していない場合はその理由を伺います。	
	伊豆市独自の戸籍業務を処理している場合はどのくらいの経費	
	をかけていますか。戸籍業務を3市の電算センターで処理する	
	ことはできませんか。	

件名	内容	答弁を求める者
関野川	<p>9月議会の一般質問で建設部長の答弁について確認します。</p> <p>関野川に投棄された碎石の山は伊豆市とはかかわりがありませ んね。</p> <p>この碎石の山は何も問題ないのですね。</p> <p>この碎石投棄は関野川の流路の断面積を小さくするものです。</p> <p>不法投棄ではありませんか。</p> <p>碎石を伊豆市に無断で投棄したのではありませんか。</p> <p>問題ないと言う建設部長の発言は理解できません。</p> <p>問題ないと言う根拠を伺いたい。</p>	市長
官製談合	<p>沼津市の官製談合が話題になっています。</p> <p>官製談合防止法違反で職員が逮捕されました。</p> <p>沼津市は職員の逮捕を受けて幹部職員の再教育を始めました。</p> <p>職員が官製談合防止法違反で3名、逮捕されました。</p> <p>それを受けての職員の再教育です。</p> <p>この談合は</p> <p>最低制限価格2289万円に対し</p> <p>応札価格は2292万円です。</p> <p>この入札は最低制限価格が漏洩したものと思われます。</p> <p>伊豆市の入札では落札率100%がたくさんあります。</p> <p>東こども園の建設ではJVの入札では</p> <p>落札率は97.4%です。</p> <p>100%も珍しくありません。</p> <p>設計価格 = 予定価格 ≒ 入札価格</p> <p>市長はこの数式について、いかが考えますか。</p> <p>設計価格と予定価格が公表されているのでしょうか</p> <p>現実はどうなっているのか知っていますか。</p>	市長

件名	内容	答弁を求める者
学力テスト	<p>今春の学力テストについて伺います。</p> <p>各小中学校とも県下の平均以上と伺っています。</p> <p>学力テストの結果と分析結果を知りたい。</p>	教育長
パソコン教育	<p>パソコン教育と言っても色々なものがあります。</p> <p>AI教育、プログラミング教育とさまざまな教育があります。</p> <p>AI教育はどちらかというと大学でしょうか。</p> <p>もし、伊豆市でもAI教育があるようでしたらどんな教育をするのか教えてください。</p> <p>パソコン教育についてはパソコンは必需品です。</p> <p>パソコンの配備状況はいかがでしょうか。児童一人一人にいきわたっていますか。</p> <p>パソコン教育はパソコンが必需品です。</p> <p>一人一人にいきわたっていないようでしたら、いつまでに整備する予定か知りたい。</p> <p>パソコン無くしてパソコン教育はできません。</p> <p>パソコンも安くなりました。すみやかな整備をお願いします。</p> <p>プログラミング教育も話題に上がっています。</p> <p>プログラミング教育は指導者の数が必要です。</p> <p>できるだけ多くの指導者や支援員が必要です。</p> <p>伊豆市のプログラミング教育の考え方をお聞きしたい。</p> <p>新しく始まる教育です。子供たちがつまずかないよう、注意してやりたいものです。</p> <p>最初が肝心です、つまずきは一生の問題となります。</p> <p>プログラミングが好きになるような教育をしてもらいたいものです。つまずいて嫌いにならないように指導していただきたい</p> <p>これからの教育だと思います。指導についての考えを伺います。</p>	教育長